

2020年5月1日 和食文化学会  
編集委員会委員長 新川 達郎

## 1 2020年度和食文化研究第3号の発行について

和食文化学会は、学会誌である「和食文化研究」(英文名 Japanese Food Studies) 第3号を本年度も発刊することといたしました。

本誌は、本学会設立の趣旨に基づいて和食文化を探究しようとするものであり、和食文化はもとより世界の食文化に関する研究と情報交換の場としたいと考えています。そのため本学会誌においては、実務家・実践者か研究者かを問わず幅広い分野からの参画を期待しておりますし、さまざまなステークホルダーを含めた諸活動に触発されまたそれらを基礎付けることができる新たな学問分野の創成という観点からの論文や報告を期待しています。

本号は、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行という大災害を経験する中での刊行ということから、例年通りの論文と報告の公募のほかに、下記2.のように特集を設けて特別な編集を行うこととしました。

もちろん通常の学会誌として下記3.以下のような投稿規定に基づいた論文または報告の募集はいたしております。本学会会員の方々には振るってご応募ください。また、会員ではない方につきましても、和食文化あるいは食文化にご関心の皆様で投稿をお考えの方々におかれましては、この機会にぜひ入会を頂き、投稿をいただければ幸いです。

なお、本学会は従来の研究分野を超えた和食や和食文化に関する研究の進展を目指しておりますことから、本学会誌においては和食文化研究の発展への寄与が期待できる論考の掲載を考えております。したがって、当該論文等の研究内容において個別学問分野に対応する学術雑誌がある場合はそちらに投稿していただくようお願い申し上げます。

## 2 和食文化研究第3号特集「病と食、災害(災厄)と食～和食文化研究の観点から(仮題)」

和食文化学会編集委員会では、毎年度発行しております学会誌「和食文化研究」の2020年度第3号において「病と食、災害(災厄)と食～和食文化研究の観点から」(仮題であり全体の編集段階で検討し決定予定)と題する特集を設けることとしました。

世界保健機関(WHO)も言う新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、世界中にまん延して大きな被害をもたらしていますし、現時点でもその終息の見通しは難しい状況です。すでにご承知の通り、こうした感染症の大流行は、ペストやコレラ、結核、疱瘡、赤痢など歴史的には様々な文明・文化の盛衰に大きくかかわってきましたし、20世紀に入ってもスペイン風邪やインフルエンザ、あるいは最近でもSARSやMARSなどにより、私たちの暮らしに大きな影響をもたらしてきています。そして言うまでもなく、これら疫病の流行

と食とは、密接にかかわってきており、食料生産、流通、調理、食習慣などとの深いかかわりも見られるところです。

こうした疫病の流行と食の問題に関して、和食や和食文化の研究という新たな視座からの検討が必要ではないかと思ったりしました。

この特集に当たり、特集掲載論文として和食文化学会会員各位の積極的な投稿を期待する次第です。その際、「病と食」「病気と栄養」「疫病と食事、食料」あるいは「災害時の食や栄養補給」でも、私たちの「和食文化研究」にふさわしい論として投稿して下さることを期待したいと思っております。

なお、本特集への投稿は、特集の趣旨から、論文のみとさせていただきます。論文投稿にあたりましては、以下の通常の論文と同じ規定といたしますので、3. 以下の投稿要領の「論文」の条件に基づいて応募いただければ幸いです。

また、繰り返しになりますが、和食文化研究に関する論文や報告も従来通り募集いたしております。こちらも以下の要領通りですので、積極的に投稿いただければ幸いです。

(本特集に当たっては編集委員会として、別途、識者の方々に論文を依頼して掲載する予定であることを申し添えます。)

### 3. 投稿の種類

『和食文化研究 第3号』の公募原稿は、「論文」と「報告」とします。

#### 3-1. 「論文」の形式、内容、分量などについて

- ① 「論文」は和食文化に関する研究論文とします。
- ② レフェリー制度を採り、採否の査読を行い、査読付き論文として、掲載することとします。
- ③ 言語は、日本語または英語とします。
- ④ 日本語の論文の文字数は1万字から2万字程度とします。
- ⑤ 英語の場合は15000文字(15000 letters)から3万文字(30000 letters)程度とします。

#### 3-2. 「報告」の形式、内容、分量などについて

- ① 「報告」は和食文化に関連する現状、実践、資料、所感などとし、幅広い内容とします。
- ② 編集委員会における採否の検討を経て掲載することとします。
- ③ 言語は日本語または英語とします。
- ④ 日本語の報告は5千字から1万字程度としますが、柔軟に考えることとします。
- ⑤ 英語の場合は7000文字(7000 letters)から1.5万文字(15000 letters)としますが、柔軟に考えることとします。

#### 4. 原稿の書式

##### 4-1. 本文について

- ① 学会誌は、和文につきましては、縦書きとなります。和文原稿は縦置きを前提に作成してください。和文原稿は、原則として Microsoft Word 文書（日本語用）で作成してください。英語原稿は横書きで、同様 Microsoft Word にて作成してください。投稿応募原稿は、電子データで提出してください。
- ② 冒頭に、投稿の種類（「論文」または「報告」）、論題と氏名及び執筆時点での所属・職名を明記してください。日本語原稿と英語原稿とを問わず、日本語と英語の論題、氏名、所属・職名を記してください
- ③ 和文の場合には、見出しや本文中の数字は全角・漢数字、和文中の欧文は半角・横書き、句読点は「、」、「。」、「（ ）」や記号類は全角を使用してください。英文原稿の場合には、すべて半角、横書き、句読点はカンマ、ピリオドとしてください。
- ④ 章番号は、一、二、三、節番号は、一―一、一―二、一―三（―はハイフン）とし、以下これに準じます。英文原稿の場合は、半角アラビア数字で同様としてください。
- ⑤ 日本語原稿の本文は MS 明朝、タイトルは MS ゴシックを使用してください。英語原稿は、Times New Roman とし、タイトルはイタリックにしてください。
- ⑥ 論文については、文末に日本語と英語による要約を付してください。日本語の場合は 400 字程度、英語の場合は 700 字（700 letters）程度としてください。報告についての要約は掲載いたしません。

##### 4-2. 図表について

- ① 図表には通し番号を付け、出典を明記してください。
- ② モノクロ印刷で十分判別できることを確認し、入稿時にはできるだけ解像度の高い画像をご用意の上、挿入場所を指定してください。写真は「図表」扱いです。
- ③ 原則として、図表全体が A5 版縦 1 ページ内に納まり、かつ文字の判読ができる大きさにしてください。

##### 4-3. 注、参考文献について

- ① 参考文献（資史料）及び注記は、本文の最末尾に記載してください。
- ② 注を入れる場合には、(1) (2) (3) のように、右下付き・全角上下カッコ付きの算用数字による連番を付し、本文の後に「注」の見出しを設けて、一括掲載してください。英文原稿の場合は、右上付き半角とし、その他は日本語と同様としてください。
- ③ 参考文献の掲載順は、著者名五十音順で、同一著者の場合には発行年順とします。英文の場合は著者名アルファベット順とします。
- ④ 書誌情報の書き方は、欧文横書き文献の場合は原則として科学技術情報流通技術基準

(SIST02) に従うこととし、その他は各学問分野での慣例に従ってください。

## 5. 投稿の資格と内容

### 5-1. 投稿者の会員資格

- ① 投稿の応募ができる資格は、本学会会員であることとします。
- ② 複数の著者による連名の論文の場合には、筆頭筆者は本学会会員であることとします。
- ③ 会員ではない方の投稿につきましては、合わせて入会申請をお願いします。入会が認められ次第、登載に向けて所定の手続きに入ります。

### 5-2. 投稿内容の条件

- ① 投稿論文は、和食文化学に関してオリジナリティと信頼性のある初出のものとなります。ただし、学会発表における予稿集掲載の原稿、公刊されていない研究報告書や学位論文の一部等は投稿できるものとします。
- ② 投稿論文については、他のジャーナル等への投稿中のものはご遠慮ください。
- ③ 報告についても原則として初出としますが、再録に問題がないものについては編集委員会にご相談ください。

## 6. 採録の手続きおよび刊行条件

### 6-1. 論文の査読

- ① 投稿いただいた論文については、編集委員会において査読者(レフェリー)を依頼し、その判定結果にしたがって、採録の可否を決定します。
- ② 査読者の判定によりましては、執筆者に1ヶ月程度の時間をおいて修正をお願いすることがあります。
- ② 採否につきましては、編集委員会からご連絡申し上げます。

### 6-2. 報告の採録について

- ① 報告の投稿原稿については、編集委員会で、本学会誌の趣旨に沿うかどうかを検討いたします。
- ② 編集委員会の判定によりましては、1ヶ月程度の期間を置いて、修正をお願いすることがあります。
- ③ 採否につきましては、編集委員会からご連絡申し上げます。

### 6-3. 校正

① 採録決定後の校正につきましては、あらかじめご連絡いたします期限内にお願いいたします。

② 校正は、初校と再校の2回といたします。

#### 6-4. 発行後の印刷物の配布について

① 第3号は、印刷物としての発行をいたします。

② 採録された著者には、印刷物を5部贈呈申し上げます。

③ 抜き刷りが必要な方には実費で作成いたしますので、別途ご連絡ください。

#### 6-5 著作権について

① 論文および報告の中で関係する著作権の処理は、執筆者側で行っていただきます。

② 掲載された論文や報告の著作権は執筆者に帰属しますが、本学会は、論文および報告等の著作権の一部として、複製権、翻訳・翻案権、公衆送信・伝達権を有することし、執筆者の許諾なく、電子化または複製により公開・配布できるものとします。

### 7 和食文化研究第3号掲載への投稿申し込みの提出先、提出方法、期限、申し込み内容

#### 7-1. 問い合わせ等連絡先 FAX 番号および提出先のメールアドレス

和食文化学会事務局（事務局長：平本 毅）

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

京都府立大学京都和食文化研究センター内

E-mail : info@washoku-bunka.jp

TEL 075-703-5251 FAX 075-703-5149

（コロナ禍にともないテレワークを実施中ですので、電話および FAX をお受けできないことが考えられます。E-mail でのご連絡を推奨します）

#### 7-2. 提出方法

① 事務局への電子メール (E-mail : info@washoku-bunka.jp) に添付の電子媒体とします。

② 電子メールの添付機能が利用できない場合など、提出方法について問題がある場合には、ファイル転送ソフトなどをご利用いただくこととなりますが、あらかじめ事務局にご相談ください。

#### 7-3. 第3号掲載希望の論文および報告の申し込み期限

2020年8月31日23時59分までに事務局で受信のもの

（締め切り間際のご送信は、着信できないことがありますので、余裕をもってご送信ください。なお、この期限以後に投稿されたものは、第4号以後の掲載候補とさせていただきます）

す。)

#### 7-4. 投稿申込書の記載事項

投稿の申し込みにあたりましては、以下の事項を「投稿申込書」として別紙に記して添付ください。なお申込書は、電子媒体としてください。

- ① 論文名
- ② 著者氏名
- ③ 連絡先住所
- ④ 電話番号または携帯番号（ファックス番号があればあわせて記載ください）
- ④ 電子メールアドレス（\*投稿以後の連絡は原則として電子メールによります）

#### 7-5.

投稿いただいた後、事務局から投稿受領の返信を申し上げます。

返信がない場合には、上記の事務局のご連絡ください。

以上